

感染状況・医療提供体制の分析(9月7日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (8月31日時点)	現在の数値 (9月7日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	20392人 (1086.5人)	14825人 (789.9人)	↓	感染状況コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり790人</u> と減少も、いまだ高い感染レベルが継続。高齢者施設などでのクラスターも継続的に発生している。10代以下が占める割合が少しずつ増加しており、園・学校再開後の影響を注視する必要がある。症状がある場合は外出を控える、屋内でのマスク、手指衛生、換気の徹底、ワクチン接種、大人数での会食を避けるなど、日常生活の中、個人で行える感染対策の継続を。 「岡山県の医療を守るために、県民のみなさんをお願いしたいこと」 https://bit.ly/3zH60EA 
		60歳以上 (総数に占める割合)	3258人 (16%)	2119人 (14%)	↓	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	9531人	6186人	↓	
		県南西部	7857人	6157人	↓	
		高梁・新見	460人	446人	↓	
		真庭	317人	224人	↓	
	津山・英田	2215人	1806人	↓		
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	338人 (54%)	301人 (48%)	↓	医療提供体制コメント レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる	
	④宿泊療養者数	142人	120人	↓	新規感染者の減少に伴い、患者数・療養者数も減少。発熱外来や救急医療のひっ迫は少しずつ緩和も、医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機は続き、医療提供体制に影響を及ぼしている。緊急性の低い救急外来受診は減らすなど、医療を守る行動を。	
	⑤自宅療養者数	22991人	17119人	↓		
	⑥重症者数	10人	4人	↓		